

2021年 新入試 外部検定

英検 S-CBT 第1回検定 今年9月に予約申込 現高3生・既卒生に配慮した予約申込日程も

旺文社 教育情報センター 2019年8月26日

日本英語検定協会(以下 英検)は、成績提供システムに対応する各試験の2020年度実施概要について、6月下旬から8月下旬かけ、以下5本のリリースを出した。

- 6/26 : [2020年度「英検 2020 2days S-Interview」についてのお知らせ](#)
- 7/2 : [2020年度「英検 2020 1day S-CBT」の実施概要のお知らせ](#)
- 7/5 : [大学入試に活用できる英検協会の各試験 2020年度実施概要一覧](#)
- 7/12 : [「英検 2020 1day S-CBT」における2019年度高3生\(既卒生含む\)の対応について](#)
- 8/23 : [英検 2020 1day S-CBT サイトを公開](#)

なかでも7/2にリリースされた「1day S-CBT」の実施概要は、現高2生とその保護者、そして高校教諭にとって極めて重要な情報だ。特に後述する申込ステップと申込スケジュールについては本記事で正確な情報を掴んでいただき、早い段階で2020年度受験の計画を立ててもらいたい。

まずは英検の各試験における要所を確認

新入試では成績提供システムに対応しているいわゆる3つの新方式が受験の中心になる。私立大ではシステムを利用せず、従来型の英検も可とする大学が見受けられるが、それでも新入試ではシステムに対応した試験を利用する大学が多くなると想定される。

試験名	成績提供システム 対応	対象受験者	実施方式		
			RL	W	S
1day S-CBT	○	高3生・既卒生	PBT	PBT	吹き込み
英検CBT	○	制限なし	CBT	CBT	吹き込み
2days S-Interview	○	障がいのある受験者	PBT	PBT	対面式
英検 従来型	×	制限なし	PBT	PBT	対面式

※PBT:紙での解答 / CBT:コンピュータでの解答

※「1day S-CBT」のPBTは、問題はコンピュータの画面上

前ページの各試験概要の表にはもう1つ要素がある。「1day S-CBT」のRLとWの方式を見てほしい。表内にはPBTとあるが、これは詳細には、問題形式はコンピュータの画面、解答形式はペーパーに記入という方式になる。

英検の公式 Web サイトでは「[1day S-CBT](#)」の体験版をリリースしている。予約申込をする前に、問題形式はコンピュータ、解答形式はペーパーという方式を体験しておくといいたいだろう。

「2days S-Interview」の対象は障がいのある受験生限定に 英検受験層の多くは「1day S-CBT」へ

6/26の「S-Interview」のリリースでは、対象受験者の変更について重大な発表があった。2020年度の対象受験者は「CBT方式では対応することのできない、吃音者を含む、点字やテロップ、筆談等の合理的配慮が必要な障がいのある受験者」に限定されることとなった。

「S-Interview」が、障がいのある受験生に限定されたことで、2020年度の英検受験層は「英検 CBT」か「1day S-CBT」のどちらかの選択となる。このうち「英検 CBT」は4技能すべてがCBT、「1day S-CBT」はSpeaking以外がPBTだ（問題形式はコンピュータの画面）。特にWritingはPBTを望む受験生も多いだろう。そのため、英検受験層の多くは「1day S-CBT」を選択することになりそうだ。

「1day S-CBT」2020年度 実施概要のポイントを整理 第1回検定の予約申込は今年9月！

●検定回と試験日程 — 各検定回で受験回数は1回

2020年度の「1day S-CBT」の検定回は2回で、4月～11月まで毎月実施される予定。各回で受験できるのは1回のみだ。例えば、下表の第1回検定の試験日程内にて、予行目的で4月に受験し、本番目的で7月にもう1度受験というのはできない。対象受験者は、高3生・既卒生限定となるが、後述する予約申込は高2時点ですることになる。

2020年度 検定回	試験日程	補足
第1回検定	2020年4月・5月・6月・7月のいずれか	各検定回で受験回数は1回のみ
第2回検定	2020年8月・9月・10月・11月のいずれか	

●申込ステップ・申込スケジュール — 受験に必要な2ステップ

「1day S-CBT」を受験するには、原則「予約申込」と「本申込」の2ステップが必要だ。下表の第1回検定「予約申込」の日程を見てほしい。第1回検定の試験日程内で受験するには、今年の9月に予約申込がある。この9月の予約申込をしないと、第1回検定では受験できなくなる可能性がある。一方で、予約申込さえしていれば受験者の席は必ず確保される仕組みとなっている（個々の実施日は申込順<後述>）。

検定	2019年度												2020年度				
	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
第1回検定			予約申込					本申込		受験	受験	受験	受験				
第2回検定							予約申込		現高3・既卒限定 予約申込		本申込		受験	受験	受験		受験

予約申込をしなかった受験生は、本申込後に席の余剰が出た場合に限り、受験できる可能性が残されてはいる。しかし、必ずしも希望する日程・会場で受験できるとは限らない。特に、2020年9月から始まる総合型選抜での利用を考えている受験生は第1回検定の9月の予約申込をしっかりとっておいた方がいいだろう。

「1day S-CBT」を受験する可能性のある現高2生とその保護者、高校教諭は今年の9月の申込開始までに第1回検定を受験するかどうか早めに話し合い、計画を立ててほしい。

●予約申込と本申込の方法 — 本申込時に受験級の変更が可能

ここでは予約申込と本申込の方法について、注意点を整理しておきたい。次ページの表を見てほしい。まず、すべての申込ステップは個人でのWeb申込となる。従来型の英検のように、自治体や高校、書店経由での申込はできない。

次に、予約金と検定料について。予約申込時に予約金3,000円を支払い、本申込時に検定料（検定料と予約金3,000円との差額）を支払う仕組みだ。予約金は返金されないので、受験をしっかりと決めたうえで予約したい。

STEP① 予約申込	形式	個人でWeb申込
	入力内容	受験者情報(氏名、住所、所属高校、卒業見込み/卒業)
		受験希望級(事前アンケートとして)
		任意のパスワード
	予約金	3,000円税込
備考	本申込時に必要な「予約番号」を発行	
STEP② 本申込	形式	個人でWeb申込
	入力内容	受験希望条件(日時、会場、受験級[予約申込時から変更可能])
		顔写真の登録
		大学入試センターから付与される「共通ID」の入力
検定料	希望級の検定料と予約金3,000円との差額の支払い	

試験の実施は原則、土日祝日を中心に毎月行われる予定で、予約申込の状況に応じて同じ月の中でも複数回実施されることもある。試験実施日はこれまでの英検よりも多くなり、受験生にとってはメリットといえよう。ただし、具体的に各月の何日に実施されるのかは、本申込の際に選択肢で示され、そこから選ぶことになる。ここで注意したいのが、本申込での受験の席の確保は“申込順”となっていること。

英検としては、予約申込で見込み受験者数を把握することで、想定される受験者数の120%の座席数を用意するとしている。多くの場合、本申込で選択肢として示された日程から受験生の希望条件どおりに申込できるだろう。しかしもし、同一日に本申込があまりに集中した場合、希望日が定員になってしまうことも起こりうる。したがって、本申込は早めに行うことをおすすめする。

受験日については、予約申込段階では未定でも問題ない。第1回検定の場合、試験会場や受験級も含めて来年2月までに決めておけばよい。受験希望級は予約申込段階でも入力はあるが、これはあくまでも事前アンケートなので、本申込時に変更は可能となっている。

共通IDは、予約申込段階では不要で、本申込時に必要となる。そのため、共通IDは本申込前までには取得しておかなければならない。

●試験会場 — 全国 186 エリア 260 会場 (次ページ表参照)

地理的な公平性の担保が求められる試験会場についても7/2のリリースで詳細なエリアと会場数が示された。予定としたうえではあるが、全国186エリアに260のテストセンターを設置するとした。地理的な公平性の担保に最大限の配慮がされたと言っていいだろう。

都道府県	エリア	会場数
北海道	札幌	3
	函館	1
	旭川	1
	室蘭	1
	釧路	1
	帯広	1
	北見	1
	苫小牧	1
青森県	青森	1
	弘前	1
岩手県	盛岡	1
	北上	1
宮城県	仙台	2
	石巻	1
	気仙沼	1
秋田県	秋田	1
	横手	1
	湯沢	1
山形県	山形	2
	米沢	1
	鶴岡	1
福島県	福島	2
	会津若松	1
	郡山	2
茨城県	水戸	3
	土浦	1
	つくば	1
栃木県	鹿嶋	1
	宇都宮	1
群馬県	前橋	1
	高崎	1
埼玉県	太田	1
	大宮	4
	浦和	1
	川越	1
	熊谷	1
千葉県	所沢	1
	越谷	1
	千葉	3
	幕張	1
	市川	2
神奈川県	船橋	1
	木更津	1
	柏	1
	銚子	1
	横浜	3
	新横浜	2
	川崎	1
東京都	相模原	1
	横須賀	1
	平塚	1
	藤沢	1
	厚木	1

都道府県	エリア	会場数
東京都	丸の内	2
	秋葉原	1
	四ツ谷	1
	銀座	2
	麻布十番	1
	新宿	5
	渋谷	2
	代々木	1
	池袋	2
	八王子	1
	立川	1
	府中	1
	町田	1
	大島	1
山梨県	八丈島	1
	甲府	1
長野県	富士吉田	1
	昭和町	1
	長野	2
	松本	2
	上田	1
新潟県	飯田	1
	伊那	1
	東御	1
	新潟	1
	長岡	1
富山県	上越	1
	佐渡	2
石川県	富山	1
	富岡	1
福井県	金沢	1
	七尾	1
岐阜県	福井	2
	敦賀	1
静岡県	岐阜	2
	高山	2
愛知県	多治見	1
	静岡	2
三重県	浜松	1
	沼津	1
滋賀県	名古屋	2
	千種	1
京都府	豊橋	2
	岡崎	2
兵庫県	一宮	1
	津	1
奈良県	四日市	1
	伊勢	1
和歌山県	大津	1
	彦根	1
大阪府	近江八幡	1
	草津	2
鳥取県	京都	2
	福知山	1
島根県	神戸	4
	西宮	1
岡山県	豊岡	1
	姫路	1
広島県	奈良	3
	橿原	1
山口県	和歌山	1
	田辺	1
徳島県	新宮	2
	徳島	3
香川県	高松	3
	松山	2
愛媛県	宇和島	1
	新居浜	1
高知県	高知	1
	四万十	1
福岡県	博多	5
	天神	1
佐賀県	北九州	2
	久留米	1
長崎県	筑後	1
	佐賀	3
熊本県	唐津	1
	長崎	1
大分県	佐世保	3
	対馬	1
宮崎県	杵岐	1
	五島	1
鹿児島県	熊本	2
	人吉	1
沖縄県	大分	1
	中津	1
鹿児島県	宮崎	2
	都城	1
鹿児島県	延岡	1
	鹿児島	1
鹿児島県	奄美	1
	鹿屋	1
鹿児島県	種子島	1
	那覇	3
鹿児島県	石垣	1
	名護	1
鹿児島県	宮古島	1
	新宮	2

都道府県	エリア	会場数
大阪府	梅田	5
	都島	1
	難波	1
	天王寺	1
	塚	1
	岸和田	1
	豊中	1
	吹田	1
鳥取県	高槻	1
	枚方	1
鳥取県	東大阪	1
	鳥取	1
鳥取県	米子	1
	倉吉	1
鳥取県	境港	1
	松江	3
鳥取県	浜田	1
	出雲	1
鳥取県	隠岐	1
	岡山	3
鳥取県	倉敷	1
	津山	1
鳥取県	広島	5
	福山	2
鳥取県	山口	1
	下関	1
鳥取県	防府	1
	岩国	1
鳥取県	徳島	3
	香川県	高松
鳥取県	松山	2
	宇和島	1
鳥取県	新居浜	1
	高知	1
鳥取県	高知	1
	四万十	1
鳥取県	博多	5
	天神	1
鳥取県	北九州	2
	久留米	1
鳥取県	筑後	1
	佐賀	3
鳥取県	唐津	1
	長崎	1
鳥取県	佐世保	3
	対馬	1
鳥取県	杵岐	1
	五島	1
鳥取県	熊本	2
	人吉	1
鳥取県	大分	1
	中津	1
鳥取県	宮崎	2
	都城	1
鳥取県	延岡	1
	鹿児島	1
鳥取県	奄美	1
	鹿屋	1
鳥取県	種子島	1
	那覇	3
鳥取県	石垣	1
	名護	1
鳥取県	宮古島	1
	新宮	2

●現高3生・既卒生対象スケジュール — 2020年3月下旬～4月上旬に予約申込を受付

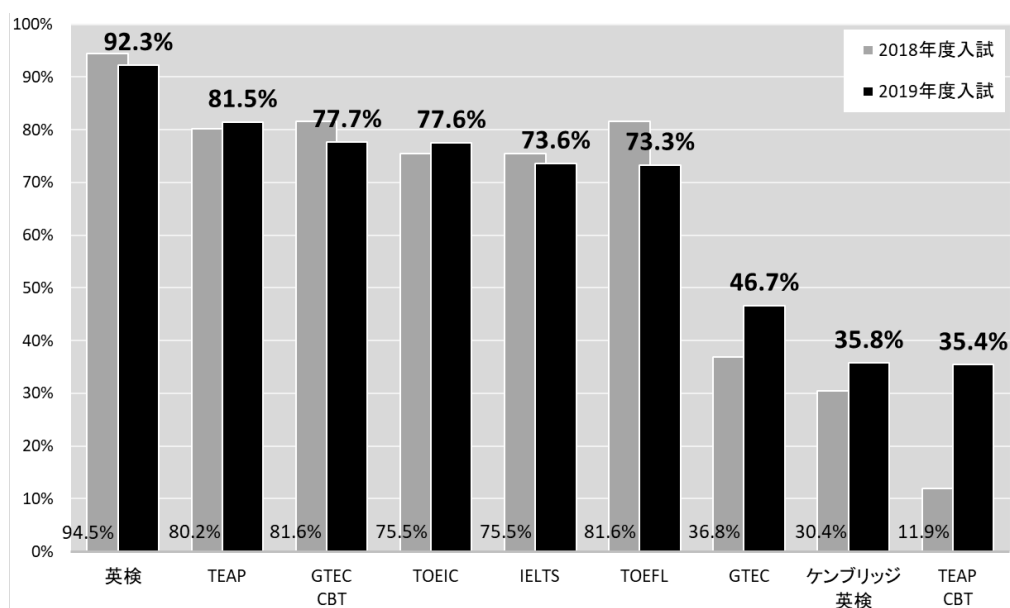
2021年度の新入試対象となるのは現高2生だけではない。現高3生や既卒生も今年度入試で思うような結果にならないければ、新入試の対象受験者となりえる。しかし、予約申込は一般入試の結果が出る前だ。本年度の受験生は浪人するのかわからないのに予約申込もできないだろう。

そこで英検は来年度の既卒生を対象として、第2回検定の予約申込に「2020年3月下旬～4月上旬」の日程を追加した。この予約申込日程は、現高3生と既卒生対象で、現高2生は対象外となる。さらに英検は、第1回検定の申込についても、現高3生と既卒生が不利にならないよう、前向きに検討を進めるとしている。

**英検の各検定実施概要が出揃うも、多くの大学で外検の利用方法は未定
現高2生は手探り状態で2020年度の外検計画に**

本記事執筆中の2019年8月現在、2021年度実施の一般選抜・共通テストまでは1年半近くある。現段階では、各大学から2021年度入試の詳細情報はでておらず、各大学で利用できる外検までは踏み込んでいない。

1年に2度までの成績しか成績提供システムに登録できない中で、せっかく受けた外検が志望校で利用できないという事態は避けたい。そこで参考にしてもらいたいのが、下図の「一般入試で大学が入試利用に採用した各外検の割合（2018～2019年度）」だ。



※TOEICはTOEIC LRとLRSW、TOEFLはiBTとJC、GTECは3技能と4技能、TEAPは2技能と4技能を合算し算出。
 ※各検定の採用については募集要項に記載されている検定をすべて計上。「それに準ずる検定でも利用可」のような記載の場合は、上記すべての検定が採用されているとしてカウント。募集要項の文面から記載検定以外が有効と読み取れない場合には採用としない。

採用率の高い外検を受けておくことで、志望大学の選択肢を幅広く持つておくことができると同時に、志望大学の変更や併願大学での利用可能性も高まる。

グラフにあるとおり、もっとも採用率が高いのは英検だ。英検を入試利用に採用する大学が多い背景としては、高校生に広く認知されている外検であることが考えられる。多くの受験生に受験してもらいたい大学としては、今後も英検を採用する流れは大きくは変わらないだろう。